



RS SILVER MAT Si

RS シルバーマット Si

水性艶消しシリコン樹脂塗料

# RS SILVER MAT Si

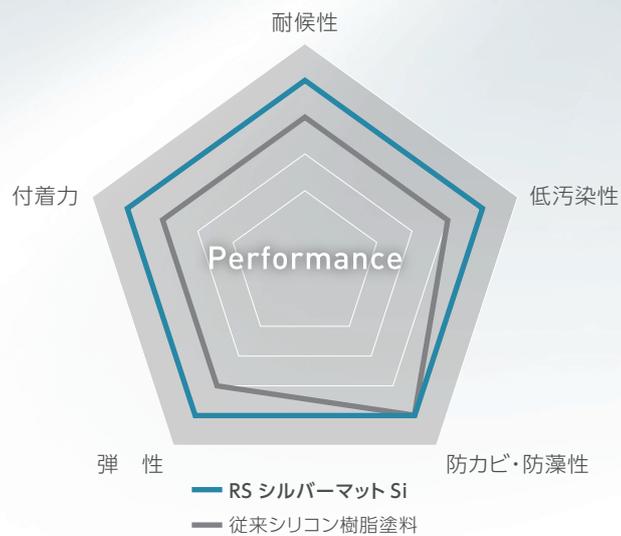
「マイクロパウダー技法」により

シルクのようなしっとりした艶消しで

シックな仕上りに。

耐久性にも優れ、塗膜の劣化を抑制し

建物の美観を維持します。



## やさしい質感

「マイクロパウダー技法」を用いた艶消し技術により、  
おだやかな艶消し感を呈します。

## 高耐久性

弾性系塗材にも塗装可能で  
経年での耐ワレ性に優れた耐久性を有します。

## 高耐候性

優れた高耐候性で  
過酷な自然環境から建物を護ります。

## 低汚染性

「特殊防汚成分」による低汚染性は  
美観を長年にわたり維持します。

## 防カビ・防藻性

建物の美観を損ねるカビや藻の発生を抑制します。

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

# なめらかな仕上り

マイクロパ

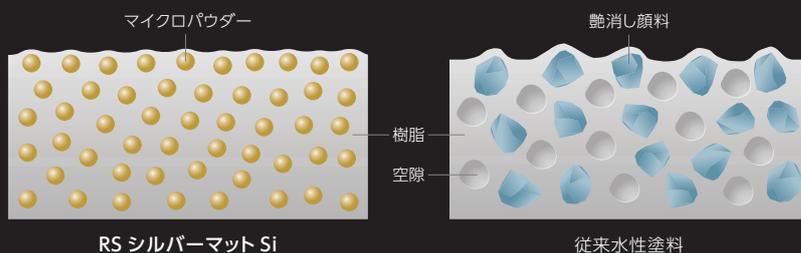
やさしい質感

「マイクロパウダー技法」で塗料成分を細粒子化し、シルクのような、なめらかな艶消しの仕上りを実現します。

艶消しイメージの比較

RSシルバーマットSiには空隙がありません。

従来水性塗料には空隙があります。



RSシルバーマットSi

従来水性塗料



# が上品さを演出

ウダー技法

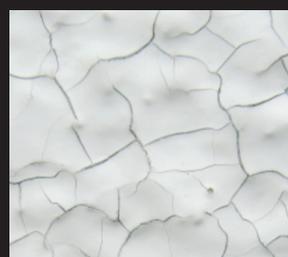
高耐久性

「マイクロパウダー技法」で塗料成分を細粒子化し、  
艶消しにすることにより、経年劣化における塗膜のワレを軽減します。

経年劣化の比較



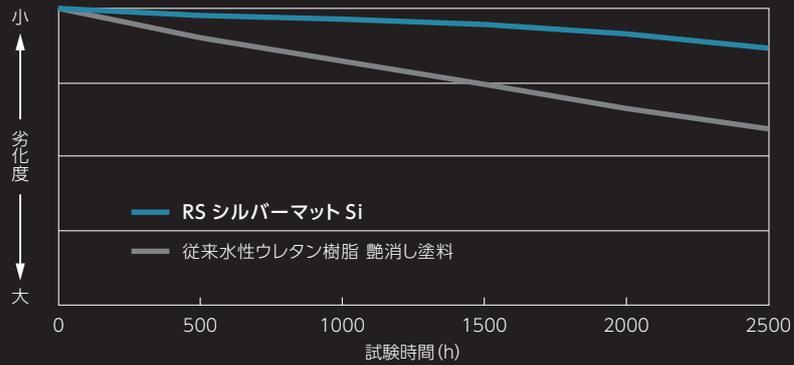
RS シルバーマツト Si



従来水性塗料

高耐候性

高耐候な塗膜が建物の資産価値を護ります。

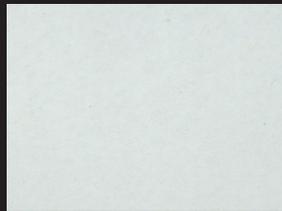


※劣化度は変褪色の度合い(色差ΔE)を示したものです。

低汚染性

「特殊親水性粒子」の効果による低汚染性で雨筋汚れを抑制します。

雨筋汚れの比較



RS シルバーマット Si



従来水性塗料

防カビ・防藻性

防カビ・防藻性に優れています。

防カビ性



RS シルバーマット Si



従来水性塗料

<試験方法>

カビ類または藻類を培養させた寒天の上に塗膜を置き、一定期間後の状況を観察します。

中央の四角(塗膜)にカビまたは藻の繁殖が認められなければ、防カビ・防藻機能を有していると言えます。

下塗塗料 各種下塗塗料をラインナップしています。

RSサーフ 水性

ダブルマイクロ技法により、キメ細かい滑らかな肌を実現します。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSプライマー 水性 2液

水性で臭気も少なく、幅広い旧塗膜・基材へオールマイティーに対応します。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSフィラー 水性

これまでに培った技術力を結集した長期耐久性弾性下地調整材。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル

RSマルチシーラー 溶剤 2液

紫外線をブロックしあらゆる素材へ優れた付着性を発揮。光触媒サイディングなどに最適な下塗材です。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード  
【主な素材適正】 珪素塗装面・光触媒塗装面・無機塗装面

標準色 艶消し

RS-111



RS-110



RS-112



RS-223



RS-310



RS-121



RS-133



RS-221



RS-120



RS-127



RS-131



RS-80



RS-337



RS-336



RS-141



RS-247



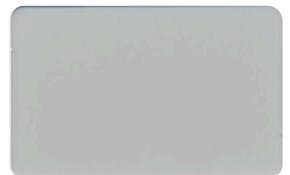
RS-330



RS-147



RS-350



RS-75



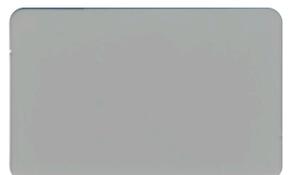
RS-347



RS-150



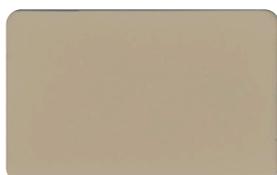
RS-352



RS-70



RS-356



RS-357



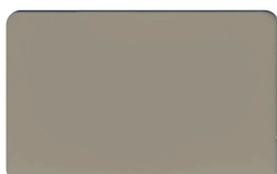
RS-368 ©



RS-50



RS-367



RS-167



RS-376



RS-379 ©



RS-170

※この色見本は、紙に塗装していますので実際の仕上りと多少異なります。

※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などでの調色も可能です。

©印は、材料代が割高になります。

## 標準塗装仕様

■適用下地:コンクリート・モルタル系素地(旧塗膜吹付けタイル・リシン面等)

工程	塗料名・処置	塗装回数	希釈率(%)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	塗装間隔(23℃)
素地調整	モルタルの浮き・クラックなどは適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗	RSフィラー	1	上水 1~4	0.80~1.50	多孔質ローラー	8時間以上7日以内
上塗(1回目)	RSシルバーマットSi	1	上水 0~10	0.13~0.17	ハケ・ローラー	2時間以上7日以内
上塗(2回目)	RSシルバーマットSi	1	上水 0~10	0.13~0.17	ハケ・ローラー	—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

■適用下地:窯業系サイディングボード面

工程	塗料名・処置	塗装回数	希釈率(%)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	塗装間隔(23℃)
素地調整	業系サイディングボードのクラック、ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗	RSプライマー (ベース/硬化剤=5/1)	1	上水 0~10	0.13~0.20	ハケ・ローラー	4時間以上7日以内
上塗(1回目)	RSシルバーマットSi	1	上水 0~10	0.13~0.17	ハケ・ローラー	2時間以上7日以内
上塗(2回目)	RSシルバーマットSi	1	上水 0~10	0.13~0.17	ハケ・ローラー	—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

■適用下地:艶消し意匠材

工程	塗料名・処置	塗装回数	希釈率(%)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	塗装間隔(23℃)
素地調整	モルタルの浮き・クラックなどは適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗	RSプライマー (ベース/硬化剤=5/1)	1	上水 0~10	0.13~0.20	ハケ・ローラー	4時間以上7日以内
上塗(1回目)	RSシルバーマットSi	1	上水 0~10	0.20~0.23	ハケ・ローラー	2時間以上7日以内
上塗(2回目)	RSシルバーマットSi	1	上水 0~10	0.20~0.23	ハケ・ローラー	—

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

## 汚れについて

- カビ、藻、シーリング材のじみ、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等のレベルです。
- 塗装後3日~1週間から落ちはじめ、その間に付着した汚れも徐々に除去されます。但し建物の構造上、本来の低汚染性能が十分に発現しない場合があります。雨掛りの少ない被塗面や、汚れが大量に流れ落ちる被塗面では、十分な汚れ防止効果が得られないこともあり

- 足場解体時など、部分補修する際には、汚染ムラの発生原因となりますので、硬化剤の入れ忘れ、不足などに十分注意してください。

## 施工上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等で古い弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- 押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー(マルチタイルコンクリートプライマーEPO)をご使用ください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- 黄・赤・青・緑系の冴えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるため、1層目と共色で塗装して仕上げることをお奨めします。
- 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑性のブリッドによる粘着が起こる場合があります。
- シーリング材の上は塗膜の浮きや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむなく塗装する場合は、事前に試験塗装を行い付着性、粘着性が問題ないことを確認の上、施工を進めてください。その際の下塗には「シープラ」または「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を使用することをお勧めします。

- 塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- 施工部位、被塗物の形状、環境条件により低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 塗料を開放して長時間放置すると上乾きする場合がありますのでご注意ください。
- 濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- 建物の構造上、雨掛りの少ない面や結露が生じやすい場合において、塗膜表面に膨れ、白化、艶ムラ、粘着物が発生する恐れがあります。著しい結露が予想される場合は、溶剤系塗料での施工をお勧めします。
- 降雨や結露等により塗膜表面に粘着物が発生した際には、水道水で十分に洗浄または水拭きにより除去した後、十分乾燥させてください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛かった場合や、低温、高湿度、通風のない環境では、膨れ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。
- やむを得ず塗装する場合は強制換気などで乾燥を促進させてください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 過希釈は隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 防藻・防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理をしてから塗装してください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保管し、速やかに使い切ってください。

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 【予防策】

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振り回し、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

### 【対応】

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

## リフォームサミット店

Supported by KANSAI PAINT

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご承知ください。

(22年09月01日PNA) カタログNo.782